

第 15 回 通 常 総 会

2000年5月26日(金)

社団法人 人工知能学会
JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE



〒 162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-7
OSビル 402 号室
TEL: 03-5261-3401 FAX: 03-5261-3402

第 1 5 回 通 常 総 会 次 第

日 時 2000 年 5 月 26 日 (金) 16 時 15 分 ~ 17 時 15 分

場 所 早稲田大学国際会議場 共同研究室 (7)
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-20-14

総会次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 1999年度事業報告
- 5 個人会員の除名処分
- 6 1999年度決算報告および監査報告
- 7 2000年度事業計画案
- 8 2000年度予算案
- 9 2000年度役員・評議員構成案
- 10 新会長挨拶
- 11 活性化委員会答申
- 12 閉 会

以上

1999年度事業報告

1 概要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化のための諸活動を推進した。会誌の隔月発行、第13回全国大会の開催、研究会活動、国際交流活動およびメーリングリストの運用などによる会員サービスの充実に努力するとともに、会員外へのサービスとしてセミナーを開催した。

この一年間の会員数の推移は41名減で、本年度も会員減少に歯止めがかからなかった。学生会員は増加傾向にあるものの、長引く不況で企業の正会員の減少が止まらない。このような状況下、各委員会で新しい活性化の諸施策が企画・実施された結果、全国大会・シンポジウム・セミナーの参加者が増加傾向に転じて明るさが見え始めた。

会誌は隔月に発行され、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説の連載、AIマップ、投稿論文などが掲載された。また、編集委員会内に「魅力ある会誌づくり」を目指して会誌改革ワーキンググループ、引き続きその企画を実行する会誌改革実施ワーキンググループが設置され、会誌のA4版化(2000年1月1日発行の第15巻第1号より実施)や論文誌のオンラインジャーナル化(2001年1月1日発行の第16巻第1号より実施の予定)のテストが開始された。

第13回全国大会は6月15日から4日間にわたり早稲田大学国際会議場で開催された。プログラム構成面では、昨年度新設されたAIレクチャーとデジタルポスターセッションに、本年度は近未来チャレンジと実用AI体験ラボを追加して、研究発表のスタイルをバラエティに富んだものとした。また、チュートリアルへの演習の導入、全会場へのPCプロジェクト設置、無料レセプションの開催など、運営面でもさまざまな改善を行った。これによって、本年度は、会場の各所で研究成果の効果的な提示をはさんだ熱心な討論が繰り広げられ、活気に溢れた大会となった。

8研究会は、それぞれの研究会活動の他に、他学会の研究会との合同研究会や“AIシンポジウム99”を開催するなど活発な活動を行った。なお、本年度から第2種の「ことば工学研究会」が本格的な活動を開始した。

人工知能セミナーは「視覚と知能：人工システムへの設計論」と「情報家電とAI～AIは快適生活の役に立つか～」をテーマに東京と横浜で開催し、両方とも企業からの参加者が多く盛況であった。

国際研究交流活動の一環として、第10回計算学習理論国際ワークショップ(ALT'99)を早稲田大学国際会議場で開催した。また、本年度も、ロボカップ日本委員会ほかと協力してロボカップ・ジャパンオープンを共催した。その他、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調・連携活動も活発に行った。

2 会員現況 (2000年3月31日)

	本年度末 (平成12年3月31日)	前年度末 (平成11年3月31日)	増減数
正会員	2,953名	3,044名	91減
学生会員	507名	457名	50増
名誉会員	6名	6名	0
賛助会員	60社	65社	5減
特殊購読会員	100団体	106団体	6減

3 会誌発行 (発行部数：4,250)

① 第14巻第3号(通巻75号)1999年5月1日発行

小特集「エンジニアリングへの応用：研究と現場の溝を越えて」の解説3編と座談会記録、一般解説1編「量子論と心」、AIマップ「人間の非論理的情報をAIはどう取り扱うか」へのコメントと回答、一般論文12編、ショートノート2編、他

- ② 第14巻 第4号(通巻76号)1999年7月1日発行
 小特集「モバイルコンピューティングとエージェント」の解説3編, 一般解説1編「自動車の自動運転システム」, AIマップ「明示的理解に魅せられて」, 一般論文10編, ショートノート1編, 技術資料1編, 他
- ③ 第14巻 第5号(通巻77号)1999年9月1日発行
 特集「計算学習理論の進展と応用可能性」の解説5編, AIマップ「明示的理解に魅せられて」のコメントと回答, 一般論文8編, 技術資料1編, 他
- ④ 第14巻 第6号(通巻78号)1999年11月1日発行
 特集「創造的ネットワーク化情報環境に向けて」の解説5編, 論文特集「オントロジーの基礎と応用」の解説1編と論文10編, 一般論文10編, 他
- ⑤ 第15巻 第1号(通巻79号)2000年1月1日発行 「本号よりA4版で発行」
 特集「分子生物情報学の新展開」の解説7編, ショートノート特集「近未来チャレンジ」の論文5編, 特集「人工知能分野における博士論文」の紹介記事59件, 一般論文10編, 他
- ⑥ 第15巻 第2号(通巻80号)2000年3月1日発行
 小特集「高度道路交通システム(ITS)とAI」の解説4編, 一般解説2編「遺伝的プログラミングと進化論的計算手法」および「実数値GAとその応用」, 一般論文11編, 他

4 全国大会(第13回)の開催

- ・日 時: 1999年6月15日(火)～18日(金)
- ・場 所: 早稲田大学・国際会議場(東京・西早稲田)
- ・プログラム構成:
 - ① 特別講演: 「生物現象の諸階層構造—上位階層の新機能はどのようにして生じるのか」
 団 まりな(大阪市立大学)
 - ② 招待講演: 「人工知能およびロボット研究の新展開」
 井上 博允(東京大学)
 「大学における研究, 企業における研究—情報産業立国をめざして」
 所 真理雄(ソニー CSL)
 - ③ AI レクチャー
 - ・「Global Teamwork」
 Renate Fruchter (Stanford University)
 - ・「人工現実から複合現実へ: サイバースペースと実世界との関わり」
 田村 秀行 (MR システム研究所)
 - ・「人間行動観察学習システム」
 池内 克史 (東京大学)
 - ・「人工生命と進化システム」
 下原 勝憲 (NTT & ATR)
 - ・「ゲノム情報に基づく細胞の再構築」
 富田 勝 (慶応義塾大学)
 - ・「社会科学を実験科学に」
 寺野 隆雄 (筑波大学)
 - ・「インテリジェントコンテンツと知の共有化」
 橋田 浩一 (電総研)
 - ④ パネルディスカッション
 「人工知能のエンジニアリングへの応用: 使いこなしと未来への飛躍」
 司 会 富山 哲男 (東京大学)
 パネリスト 末田 直道 (東芝), 辻野 克彦 (三菱電機), 大力 修 (新日本製鐵)
 宮本 裕一 (川崎重工), 西田 豊明 (東京大学), 鷲尾 隆 (大阪大学)
 - ⑤ 特別セッション
 - ・「ロボカップ99世界大会に向けて」
 - ・「知的学習支援システム構築法の共有を目指して」

- ・「Cross-Media と情報統合ー RWC 実世界知能技術」
- ・「IREX : Information Retrieval and Extraction Exercise」
- ・「生命理解のための ABC ー人工生命 (A) 分子生物 (B) 情報 (C) の立場から見た生命現象を解明するための方法論について」
- ・「コミュニケーションのリアリティ」
- ・「知識発見研究の現状と展望」

⑥ 実用 AI 体験ラボ (6 件)

⑦ 近未来チャレンジ

- ・「データと知識」 5 件
- ・「認知科学とその応用」 5 件
- ・「社会情報システム」 4 件

⑧ チュートリアル 3 テーマ

第 1 トラック : 「データマイニング～3 つの側面～」

- ・人工知能「機械学習と知識獲得」 元田 浩 (大阪大学)
- ・応用「科学的データベースからの知識発見」 津本 周作 (東京医科歯科大)
- ・データベース「大量データ処理の課題」 河野 浩之 (京都大学)

第 2 トラック : 「知的情報資源」

- ・知的情報ナビゲーションのために 大澤 幸生 (筑波大学)
- ・マルチモーダル情報の検索 岡 隆一 (RWC)
- ・XML と Java による Web アプリケーション構築 浦本 直彦 (日本 IBM)
- (演習付き) 田村 健人 (日本 IBM)

第 3 トラック : 「エンタープライズ組織と AI」

- ・エンタープライズモデルからデジタルエンタープライズへ 永田 守男 (慶応義塾大学)
- ・ダイナミック・バランスと会計情報 小林 啓孝 (慶応義塾大学)
- ・情報フローと物の流れの記述的分析方法 河野 宏和 (慶応義塾大学)
- ・デジタルエンタープライズを支える AI 関連技術 山口 高平 (静岡大学)

⑨ 発表件数 184 件

- ・口頭発表 152 件
- ・デジタルポスタ発表 32 件

⑩ 参加者 624 名 (会員 531 名、非会員 93 名)

⑪ 表彰

- ・優秀論文賞 6 編
- ・ベストプレゼンテーション賞 4 件

5 研究会の開催

第 1 種研究会

① 人工知能基礎論研究会 (略称 SIG-FAI)

- ・第 37 回
 - 期 日 : 1999 年 7 月 7 日 (水) ～ 9 日 (金)
 - 場 所 : 沖縄コンベンションセンター
 - テーマ : 小特集「発見科学」及び一般演題
 - 研究発表 38 件, 招待講演 1 件, 参加者 70 名
- ・第 38 回 (第 45 回知識ベースシステム研究会との合同研究会)
 - 期 日 : 1999 年 9 月 29 日 (水) ～ 10 月 1 日 (金)
 - 場 所 : 支笏湖畔国民休暇村
 - テーマ : 小特集「知識発見とデータマイニング～基礎と応用～」及び一般演題
 - 研究発表 17 件, 招待講演 1 件, パネル討論 1 件, 参加者 29 名
- ・第 39 回

期 日：1999年11月25日（木）～26日（金）
場 所：東京電機大学理工学部（鳩山キャンパス）
テーマ：小特集「メディアと人工知能」及び一般演題
研究発表20件，招待講演2件，参加者58名

・第40回

期 日：2000年3月21日（火）～22日（水）
場 所：北陸先端科学技術大学院大学
テーマ：小特集「ナレッジウェア」及び一般演題
研究発表17件，招待講演2件，参加者49名

② 知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

・第44回

期 日：1999年6月21日（月）
場 所：NEC 田町研修センター
テーマ：小特集「スケジューリングとAI」及び一般演題
研究発表7件，招待講演2件，パネル討論1件，参加者44名

・第45回（第38回人工知能基礎論研究会との合同研究会）

第38回人工知能基礎論研究会の欄参照

・第46回

期 日：2000年1月24日（月）～25日（火）
場 所：静岡大学情報学部と浜名湖三ヶ日簡易保険センター
テーマ：小特集「ビジネスインテリジェンステクノロジー」及び一般演題
研究発表11件，招待講演1件，パネル討論1件，参加者32名

・第47回

期 日：2000年3月27日（月）～28日（火）
場 所：けいはんなプラザ
テーマ：小特集「インターネットとAI」及び一般演題
研究発表16件，招待講演1件，パネル討論1件，参加者67名

③ 言語・音声理解と対話処理研究会（略称 SIG-SLUD）

・第26回

期 日：1999年6月4日（金）
場 所：京都工芸繊維大学
テーマ：特集「音声対話システム研究の新展開」
研究発表5件，参加者40名

・第27回

期 日：1999年10月14日（木）～15日（金）
場 所：KKR 鳥羽「いそぶえ荘」
テーマ：特集「社会的相互行為研究と対話理解研究の接点を探る」
研究発表10件，招待講演3件，参加者75名

・第28回

期 日：2000年2月26日（土）
場 所：早稲田大学理工学部
テーマ：特集「コーパスを利用した談話・対話研究」
研究発表11件，参加者50名

④ 知的教育システム研究会（略称 SIG-IES）

・第26回（電子情報通信学会教育工学研究会と共催）

期 日：1999年5月21日（金）
場 所：機械振興会館
テーマ：小特集「グループ学習」及び一般演題
研究発表10件，招待講演1件，参加者49名

・第27回

期 日：1999年9月25日（土）
場 所：佐賀大学理工学部

テーマ：特集「www/情報ネットワークと知的教育システム」及び一般演題
研究発表 8 件，参加者 50 名

・第 28 回

期 日：2000 年 3 月 18 日（土）～ 19 日（日）

場 所：サンレイク美浜

テーマ：特集「言語処理応用とヒューマンインタフェース」
研究発表 10 件，招待講演 1 件，参加者 34 名

第 2 種研究会

① AI チャレンジ研究会（略称 SIG-Challenge）

・第 5 回

期 日：1999 年 5 月 1 日（土）

場 所：名古屋国際会議場

テーマ：RoboCup Japan Open
研究発表 6 件，招待講演 1 件，参加者 40 名

・第 6 回

期 日：1999 年 10 月 1 日（金）

場 所：奈良先端科学技術大学院大学

テーマ：ロボカップ
研究発表 11 件，招待講演 1 件，特別講演 2 件，参加者 40 名

・第 7 回

期 日：1999 年 11 月 2 日（火）

場 所：青山学院大学 総合研究所

テーマ：音環境理解
研究発表 10 件，招待講演 1 件，総括討論 1 件，参加者 60 名

・第 8 回

期 日：1999 年 12 月 24 日（金）

場 所：神戸大学 滝川記念会館

テーマ：ロボカップレスキュー
研究発表 11 件，招待講演 0 件，総括討論 1 件，参加者 60 名

・第 9 回

期 日：2000 年 3 月 21 日（火）

場 所：TIME 21

テーマ：RoboCup スプリングシンポジウム
研究発表 6 件，招待講演 0 件，参加者 50 名

② 情報統合研究会（略称 SIG-CII）

・第 10 回

期 日：1999 年 7 月 26 日（月）

場 所：新情報処理開発機構つくば研究センター

テーマ：「マルチエージェントによる情報統合」
研究発表 7 件，総合討論 1 件，参加者 20 名

・第 11 回

期 日：1999 年 12 月 1 日（水）

場 所：新情報処理開発機構つくば研究センター

テーマ：「情報統合と学習・自己組織化」
研究発表 13 件，総合討論 1 件，参加者 24 名

・第 12 回

期 日：2000 年 3 月 27 日（月）

場 所：新情報処理開発機構つくば研究センター

テーマ：「情報統合のためのパターン識別技術」
研究発表 4 件，総合討論 1 件，チュートリアル 2 件，参加者 24 名

③ 分子生物情報研究会（略称 SIG-MBI）

・第 7 回

期 日：1999年5月26日（水）

場 所：国立遺伝学研究所

テーマ：一般

研究発表3件，招待講演2件，参加者22名

・第8回

期 日：1999年9月17日（金、土）

場 所：京都厚生年金休暇センター

テーマ：一般

研究発表6件，招待講演4件，参加者35名

・第9回

期 日：2000年2月4日（金）

場 所：新情報処理開発機構（RWCP）つくば研

テーマ：一般

研究発表3件，招待講演2件，参加者23名

・第10回

期 日：2000年3月17,18日（金、土）

場 所：石川ハイテク交流センター

テーマ：一般

研究発表9件，招待講演2件，参加者30名

④ ことば工学研究会（略称 SIG-LSE）

・第2回

期 日：1999年7月16日（金）～17日（土）

場 所：同志社大学今出川キャンパス

テーマ：一般

研究発表8件，招待講演1件，参加者49名

・第3回

期 日：1999年12月3日（金）～5日（日）

場 所：大阪大学

テーマ：認知科学会「文学と認知・コンピュータ」研究分科会との合同開催

研究発表27件，招待講演0件，参加者60名

・第4回

期 日：2000年3月24日（金）

場 所：東京大学先端研4号館講堂

テーマ：確率と「ことば」とマルチメディアと「ことば」

研究発表5件，招待講演0件，参加者19名

6 シンポジウム／ワークショップの開催

① RoboCup-99 ジャパン・オープン

期 日 1999年5月1日（土）～3日（月）

共 催 人工知能学会，RoboCup 日本委員会，日本経済新聞社

場 所 名古屋国際会議場

構 成 シュミレーション，実機小型リーグ，実機中型リーグ

参加者 (12 チーム) (7 チーム) (5 チーム)

観衆 700 名

② 第10回計算学習理論国際ワークショップ（ALT'99）

期 日 1999年12月6日（月）～8日（水）

主 催 人工知能学会

場 所 早稲田大学国際会議場

構 成 招待講演3件，講演発表 26 件

参加者 260 名（発見科学国際会議と同時開催）

③ 第10回 AI シンポジウム（略称 SIG-J）

期 日 1999年12月16日（木）～18日（土）

主催 人工知能学会
場所 早稲田大学国際会議場
構成 研究発表 14 件, 招待講演 10 件, パネル討論 1 件
参加者 160 名

④ 第 17 回設計シンポジウム

期 日 1999 年 7 月 5 日 (月) ~ 6 日 (火)
共 催 日本設計工学会 (幹事), 人工知能学会, 精密工学会, 日本機械学会
場 所 東京大学山上会館
構 成 特別講演 1 件, 一般講演 21 件
参加者 65 名

7 セミナー

① 第 38 回人工知能セミナー

- ・テーマ: 視覚と知能: 人工システムへの設計論
- ・期 日: 1999 年 5 月 21 日 (金) 10 時 30 分 ~ 16 時 40 分
- ・場 所: 東京大学生産技術研究所 第一会議室
- ・協 賛: 情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, 精密工学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会, 日本ソフトウェア科学会, 日本設計工学会, 日本シミュレーション学会, 経営情報学会, システム制御情報学会, 日本 OR 学会, 日本認知科学会 (順不同)
- ・プログラム:
 - <司 会> 辻野 克彦 氏 (三菱電機)
 - ・視覚認知システムの設計原理を考える: ロボカップ 乾 敏郎 氏 (京都大学)
 - ・分散協調視覚: 視覚・行動・コミュニケーション機能の統合による知識の創発 松山 隆司 氏 (京都大学)
 - ・人工網膜 LSI の開発と事業化 久間 和生 氏 (三菱電機)
 - ・高速画像探索: アクティブ探索法 村瀬 洋 氏 (NTT)
 - ・パネルディスカッション 乾敏郎 (京大), 松山隆司 (京大), 久間和生 (三菱), 村瀬洋 (NTT)
- ・参加申込: 57 名

② 第 39 回人工知能セミナー

- ・テーマ: 情報家電と AI: AI は快適生活の役に立つか
- ・期 日: 2000 年 2 月 25 日 (金) 10 時 30 分 ~ 16 時 45 分
- ・場 所: 三菱電機労働組合 本部会議室 MELONDIA 大会議室
- ・協 賛: 情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, 精密工学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会, 日本ソフトウェア科学会, 映像情報メディア学会, 日本設計工学会, 日本シミュレーション学会, 経営情報学会, システム制御情報学会, 日本 OR 学会, 日本認知科学会, 電気学会 (順不同)
- ・プログラム:
 - <司 会> 浅田 稔 氏 (大阪大学)
 - ・家電業界での動き: 家庭内機器のネットワーク技術 山田 淳 氏 (三菱電機)
 - ・電力業界での動き: 家庭内統合サービス 中西 美一 氏 (四国電力)
 - ・情報流通: デジタルと人の新たな未来 小川 克彦 氏 (NTT)
 - ・ユーザからの視点: 高齢者や障害をもつ人が自立して生活するために 小山 美代 氏 (兵庫県社会福祉事業団)
- ・パネルディスカッション 山田 (三菱), 中西 (四国電力), 小川 (NTT), 小山 (兵庫県)
- ・参加申込: 55 名

8 1999年度の表彰

① 業績賞（第14回全国大会で表彰の予定：2000年7月4日）

業績賞規程および業績賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および業績賞選定委員会の審査を経て、下記の両氏に業績賞を贈呈。

- ・「知識ベースシステム研究への貢献」 元田 浩
- ・「論理・推論及び計算学習理論研究への貢献」 有川 節夫

② 1999年度学会論文賞（第14回全国大会で表彰の予定：2000年7月4日）

論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、会誌第14巻第1号～第14巻第6号に発表された論文（ショートノート、技術資料を含む）81編を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会の審査を経て、下記の2編の著者に論文賞を贈呈。

- ・「グループによる発散的思考における自律的情報提供エージェントの影響」
西本 一志，間瀬 健二，中津 良平
- ・「異種冗長なセンサー情報に基づく自律的状态抽象化法」
矢入 健久，中須賀 真一，堀 浩一

③ 研究奨励賞（第14回全国大会で表彰の予定：2000年7月4日）

研究奨励賞規程，同選定細則に基づき，1999年度の研究会で発表された論文を対象に，選定委員会による審査を経て，下記の12編の著者に研究奨励賞を贈呈。

- ・「知識情報共有システム(KIDS)の開発と実践：組織におけるノウハウ共有の促進」
中山 康子，真鍋 俊彦，笹氣 光一，鈴木 優
- ・「知識流通に適用可能なXML文章管理技術の開発」
新田 清，小櫻 文彦，井形 伸之，山根 康男，難波 功
- ・「クリティカルな事例ベースの近似構築」
佐藤 健，中川 竜一
- ・「新仮説の発見を含むアブダクティブ論理プログラムの学習」
井上 克己，羽根田 博正
- ・「組立て生産計画問題における紐つき逆MRP調整方式の評価」
金子 一哉，吉川昌澄
- ・「意外性の高い情報を提供するリコメンダーシステム」
廣岡 康雄，寺野 隆雄，大塚 雄吉
- ・「音声対話システム構築のための対話ライブラリ」
荒木 雅弘，駒谷 和範，平田 大志，堂下 修司
- ・「ITSとマイクロワールドの統合型システムの枠組みについて」
高橋 勇，小西 達裕，伊東 幸宏
- ・「「問題を作ることによる学習」の支援環境の実現」
中野 明，平嶋 宗，竹内 章
- ・「ロボカップレスキューの提案」及び「RoboCup-Rescueプロジェクト：RoboCupの社会問題へのチャレンジ」
田所 諭
- ・「距離画像を用いた低解像度特徴によるジェスチャのスポッティング認識」
西村 拓一，矢部 博明，岡 隆一，野崎 俊輔，槇村 浩司，遠藤 新太郎
- ・「歌詞からラララ --- 言葉から歌への自動変換 ---」
早川 和宏，稲垣 博人，田中 一男

④ 全国大会（第13回）優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞

（“AIソポジウム’99”で表彰：1999年12月17日）

全国大会表彰規程および全国大会表彰選定細則に基づき，全国大会開催期間1999年6月16日から18日までに発表された口頭発表152件，デジタルポスタ32件，

実用 AI 体験ラボ 6 件, 近未来チャレンジ 14 件を対象に大会参加者に候補の推薦をお願いし, 1999 年度全国大会表彰選定委員会により慎重かつ厳正に審議した結果, 以下の論文 6 件とプレゼンテーション 4 件の著者に賞を贈呈.

優秀論文賞

- ・「電子商取引における一般化 Vickrey オークションの問題点: 架空名義入札に対する頑健性」
櫻井 祐子, 横尾 真, 松原 繁夫
- ・「観測データからの科学的法則発見とその社会心理学への適用」
鷲尾 隆, 元田 浩, 丹羽 雄二
- ・「大規模テキストデータのための探索的文書ブラウジング」
坂井 力, 笠井 透, 有村 博紀, 有川 節夫
- ・「ヒューマンロボットインタラクションにおける関係性の創出」
小野 哲雄, 今井 倫太, 江谷 為之
- ・「テレビドラマにおけるシナリオのセリフと音声トラックの同期システム」
谷村 正剛, 中川 裕志
- ・「コミュニティにおける知識の共同創出支援」
平田 高司, 西田 豊明

ベストプレゼンテーション賞

- ・「展示見学を対象としたコミュニティ支援システム」
角 康之, 間瀬 健二
- ・「建設副産物リサイクル支援システム」
小野貴久, 樟 良治, 阿部一裕, 秋吉政徳
- ・「インタフェースにおけるアナロジーとコミュニケーション - 認知科学の立場から -」
鈴木 宏昭
- ・「ウェアラブルカメラを用いた高速でロバストな対象物体の 3 次元復元」
蔵田 武志, 興梠 正克, 藤木 淳, 坂上 勝彦

9 共催, 協賛, 後援などの催し物 (1999 年度承認分と会誌掲載分)

以下のように共催 5 件, 協賛 55 件, 後援 1 件及び会誌掲載 (催し物 40 件, 教官募集 21 件) により, 他学会などと協調して学会活動の活性化および多様化を推進した。

<共催> 5 件

- (01) 情報学シンポジウム
主 催: 日本学術会議 情報学研究連絡委員会
期 日: 2000 年 1 月 13 日 (木) ~ 14 日 (金)
- (02) The Fourth Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining
主 催: JSAI, SAS, IPSJ ほか
期 日: 2000 年 4 月 18 日 (火) ~ 20 日 (木)
- (03) 第 5 回関西情報関連学会連合大会
主 催: 情報処理学会
期 日: 2000 年 7 月中旬
- (04) 第 10 回インテリジェント・システム・シンポジウム
主 催: 日本ファジィ学会
期 日: 2000 年 10 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日)
- (05) 計測連合シンポジウム 先端計測 2000
主 催: 日本学術会議 工学共通基盤研究連絡委員会
期 日: 2000 年 12 月 17 日 (水) ~ 18 日 (木)

<協賛> 55 件

- (01) カラーフォーラム JAPAN'99
主 催: 光学四学会幹事会
期 日: 1999 年 11 月 9 日 (火) ~ 10 日 (木)
- (02) 経営情報学会 99 年度春期シンポジウム「企業革新とビジネスプロセス」
主 催: 経営情報学会
期 日: 1999 年 5 月 14 日 (金)
- (03) サイエンス・フロンティアつくば 999 (SFT999)
主 催: つくば国際会議場自主事業組織委員会
期 日: 1999 年 11 月 17 日 (水) ~ 19 日 (金)
- (04) 第 9 回設計工学・システム部門講演会
主 催: 日本機械学会
期 日: 1999 年 11 月 29 日 (月) ~ 12 月 1 日 (水)
- (05) 第 20 回バイオメカニズム学術講演会
主 催: バイオメカニズム学会
期 日: 1999 年 11 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日)
- (06) 公開講座「ロボットは, ワールドカップの夢を見るか?」
主 催: 中京大学・人工知能高等研究所, 名古屋市科学館
期 日: 1999 年 6 月 25 日 (金)
- (07) 第 3 回ロボットグランプリ
主 催: 日本機械学会
期 日: 1999 年 11 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日)
- (08) シンポジウム「新世紀に架ける人間-ロボット-システム-制御技術の橋」
主 催: 計測自動制御学会関西支部
期 日: 1999 年 10 月 21 日 (木) ~ 22 日 (金)
- (09) 研修会「JAVA・VRML 入門と遠隔・ネットワークロボティクス」
主 催: 日本機械学会
期 日: 1999 年 7 月 26 日 (月)
- (10) Interactive Education Japan 99 Summer
共 催: 日経 B P

- 期 日：1999年8月19日（木）～20日（金）
- (11) Prolog 応用国際会議
主 催：日本プロログ協会
期 日：1999年9月3日（金）～5日（日）
- (12) 第6回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
主 催：溶接学会・高温学会
期 日：2000年2月3日（木）～4日（金）
- (13) 第49回科学講演会”よくわかる生命科学の新しい展開”
主 催：東レ科学振興会
期 日：1999年9月22日（水）
- (14) 第5回AHP国際シンポジウム（ISAHP'99）
主 催：第5回AHP国際シンポジウム実行委員会
期 日：1999年8月12日（木）～14日（土）
- (15) Fourth Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering
主 催：第5回AHP国際シンポジウム実行委員会
期 日：1999年8月12日（木）～14日（土）
- (16) スケジューリング・シンポジウム'99
主 催：スケジューリング学会
期 日：1999年10月15日（金）～16日（土）
- (17) シンポジウム「カーナビ・携帯電話の利用性と人間工学」
主 催：日本人間工学会
期 日：2000年2月26日（土）～27日（日）
- (18) SICE セミナー「現代制御理論入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年11月16日（火）～17日（水）
- (19) 2000年並列処理シンポジウム
主 催：情報処理学会，電子情報通信学会
期 日：2000年5月30日（火）～6月1日（木）
- (20) 科学者・技術者100万人集会：第9回科学技術振興・推進に関するシンポジウム
主 催：日本工学会
期 日：1999年12月17日（金）
- (21) 第6回ソフトコンピューティングに関する国際会議
主 催：国際ファジィシステム学会ほか
期 日：2000年10月1日（日）～4日（水）
- (22) 第259回講習会「メカトロニクスにおける構造系と制御系の統合化設計技術」
主 催：精密工学会
期 日：1999年12月10日（金）
- (23) 2000RWC シンポジウム
主 催：技術研究組合 新情報処理開発機構
期 日：2000年1月17日（月）～19日（水）
- (24) 第49回システム制御情報講習会「21世紀の情報社会を生きる知恵」
主 催：システム制御情報学会
期 日：2000年1月26日（水）～27日（木）
- (25) 第12回自律分散システム・シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：2000年1月21日（金）～22日（土）
- (26) 第15回日本生体磁気学会大会
主 催：日本生体磁気学会
期 日：2000年5月26日（金）～27日（土）
- (27) ロボティクス・メカトロニクス講演会'2000
主 催：日本機械学会
期 日：2000年5月11日（木）～14日（日）
- (28) 公開シンポジウム 一視覚と運動を通して空間を把握する一
主 催：株式会社けいはんな，視覚と空間認知の総合的アプローチ委員会 2

- 期 日：1999年12月21日（火）
- (29) 第5回知能情報メディアシンポジウム
主 催：電子情報通信学会
期 日：1999年12月7日（火）～8日（水）
- (30) Workshop on Multi-lingual Speech Communication (MSC)
主 催：ATR
期 日：2000年10月11日（水）～13日（金）
- (31) The Third Asia-Pacific Conference on Simulated Evolution and Learning (SEAL2000)
主 催：名古屋大学
期 日：2000年10月25日（水）～27日（金）
- (32) 第18回日本ロボット学会学術講演会
主 催：日本ロボット学会
期 日：2000年9月12日（火）～14日（木）
- (33) 5th Online World Conference on Soft Computing in Industrial Applications (WSC5)
主 催：World Federation on Soft Computing
期 日：2000年9月4日（月）～18日（月）
- (34) IAPR 国際ワークショップ MVA2000
主 催：IAPR MVA 組織委員会, 東京大学
期 日：2000年11月28日（火）～30日（木）
- (35) The Fourteenth International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE-2001)
主 催：International Society of Applied Intelligence (ISAI)
期 日：June 4-7, 2001
- (36) 講習会「マルチエージェント～21世紀への展望～」
主 催：日本ファジィ学会
期 日：2000年2月7日（月）
- (37) 3次元画像コンファレンス 2000
主 催：実行委員会
期 日：2000年7月5日（水）～6日（木）
- (38) 複合現実感セミナー「研究開発の最前線と21世紀への展望」
主 催：日本バーチャリアリティ学会 複合現実感研究会
期 日：2000年4月11日（火）
- (39) 第27回知能システムシンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：2000年3月23日（木）～24日（金）
- (40) 第21回バイオメカニズム学術講演会
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：2000年11月24日（金）～25日（土）
- (41) Dynamics and Design Conference 2000 総合テーマ：「ダイナミクスの新世紀」
主 催：日本機械学会
期 日：2000年9月5日（火）～8日（金）
- (42) システム制御情報チュートリアル講座 2000「システム同定の最前線」
主 催：システム制御情報学会
期 日：2000年6月5日（月）～6日（火）
- (43) 最適化シンポジウム 2000 (OPTIS2000)
主 催：日本機械学会
期 日：2000年10月6日（金）～7日（土）
- (44) Digital Ware Osaka 2000
主 催：日本能率協会
期 日：2000年9月20日（水）～22日（金）
- (45) Discovery Science 2000
主 催：文部省科研費特定領域研究「発見科学」グループ
期 日：2000年12月4日（月）～6日（水）
- (46) 第43回自動制御連合講演会

- 主 催：システム制御情報学会
期 日：2000年11月16日（木）～17日（金）
- (47) 第3回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2000)
主 催：IEEE Japan IT Chapter
期 日：2000年7月17日（月）～18日（火）
- (48) 知能ロボットとシステムに関する国際会議
主 催：日本ロボット学会、IEEE、計測自動制御学会ほか
期 日：2000年10月30日（月）～11月5日（日）
- (49) International Meeting of the Psychometric Society (IMPS-2001)
主 催：Psychometric Society, 計量心理学国際大会組織委員会
期 日：2001年7月15日（月）～19日（木）
- (50) 第16回ファジィシステムシンポジウム～ファジィとノン・ファジィの統合～
主 催：日本ファジィ学会
期 日：2000年9月6日（水）～8日（金）
- (51) 第19回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス
主 催：日本シミュレーション学会
期 日：2000年6月21日（水）～22日（木）
- (52) 第15回生体・生理工学シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：2000年10月13日（金）～15日（日）
- (53) 第265回講習会「知能化，ネットワーク化が進む工作機械の現状と将来展望」
主 催：精密工学会
期 日：2000年6月29日（金）
- (54) SICE 講習会「システム技術のための組込みシステム技術」
主 催：計測制御学会関西支部
期 日：2000年6月9日（金）
- (55) ヒューマンインタフェースシンポジウム 2000
主 催：ヒューマンインタフェース学会
期 日：2000年9月20日（水）～22日（金）

<後援> 1件

- (01) インターアカデミーパネル 2000年会議及び第8回アジア学術会議
主 催：日本学術会議
期 日：2000年5月13日（土）～18日（木）

<会誌掲載・共催，協賛，後援> 40件

- (01) 第9回インテリジェント・システム・シンポジウム
主 催：日本機械学会
期 日：1999年10月27日（水）～28日（木）
- (02) 運動分析システム比較検討会
主 催：臨床歩行分析研究会
期 日：1999年7月3日（土）～4日（日）
- (03) ヒューマンインタフェースシンポジウム'99
主 催：ヒューマンインタフェース学会
期 日：1999年10月4日（月）～6日（水）
- (04) 第42回自動制御連合講演会
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年11月6日（土）～7日（日）
- (05) 第14回生体・生理工学シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年10月6日（水）～8日（金）
- (06) SICE 夏期セミナー'99 — Let's master 制御理論 —
主 催：計測自動制御学会

- 期 日：1999年6月20日(日)～22日(火)
- (07) 第2回認知科学国際会議・日本認知科学会第16回大会 合同会議
主 催：日本認知科学会
期 日：1999年7月27日(火)～30日(金)
- (08) 講習会「シミュレーションを利用するプロセスの設計と制御」
主 催：計測自動制御学会関西支部
期 日：1999年6月30日(水)
- (09) 第2回情報論的学習理論ワークショップ
主 催：情報理論とその応用学会, 電子情報通信学会
期 日：1999年8月26日(木)～27日(金)
- (10) Interactive Education Japan 99 Summer
共 催：日経BP
期 日：1999年8月19日(木)～20日(金)
- (11) シンポジウム「新世紀に架ける人間-ロボット-システム-制御技術の橋」
主 催：計測自動制御学会関西支部
期 日：1999年10月21日(木)～22日(金)
- (12) カラーフォーラム JAPAN'99
主 催：光学四学会幹事会
期 日：1999年11月9日(火)～10日(水)
- (13) サイエンス・フロンティアつくば99 (SFT999)
主 催：つくば国際会議場自主事業組織委員会
期 日：1999年11月17日(水)～19日(金)
- (14) 第3回ロボットグランプリ
主 催：日本機械学会
期 日：1999年11月20日(土)～21日(日)
- (15) 第9回設計工学・システム部門講演会
主 催：日本機械学会
期 日：1999年11月29日(月)～12月1日(水)
- (16) 第20回バイオメカニズム学術講演会
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：1999年11月27日(土)～28日(日)
- (17) 情報学シンポジウム
主 催：日本学術会議 情報学研究連絡委員会
期 日：2000年1月13日(木)～14日(金)
- (18) The Fourth Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining
主 催：JSAI, SAS, IPSJ ほか
期 日：2000年4月18日(火)～20日(木)
- (19) 第49回科学講演会”よくわかる生命科学の新しい展開”
主 催：東レ科学振興会
期 日：1999年9月22日(水)
- (20) スケジュールリング・シンポジウム'99
主 催：スケジュールリング学会
期 日：1999年10月15日(金)～16日(土)
- (21) 第6回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
主 催：溶接学会・高温学会
期 日：2000年2月3日(木)～4日(金)
- (22) シンポジウム「カーナビ・携帯電話の利用性と人間工学」
主 催：日本人間工学会
期 日：2000年2月26日(土)～27日(日)
- (23) SICE セミナー「現代制御理論入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年11月16日(火)～17日(水)
- (24) 第259回講習会「メカトロニクスにおける構造系と制御系の統合化設計技術」
主 催：精密工学会

- 期 日：1999年12月10日（金）
- (25) 科学者・技術者 100 万人集会：第 9 回科学技術振興・推進に関するシンポジウム
主 催：日本工学会
期 日：1999年12月17日（金）
- (26) 2000RWC シンポジウム
主 催：技術研究組合 新情報処理開発機構
期 日：2000年1月17日（月）～19日（水）
- (27) 2000年並列処理シンポジウム
主 催：情報処理学会，電子情報通信学会
期 日：2000年5月30日（火）～6月1日（木）
- (28) 第6回ソフトコンピューティングに関する国際会議
主 催：国際ファジィシステム学会ほか
期 日：2000年10月1日（日）～4日（水）
- (29) 第12回自律分散システム・シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：2000年1月21日（金）～22日（土）
- (30) 第49回システム制御情報講習会「21世紀の情報社会を生きる知恵」
主 催：システム制御情報学会
期 日：2000年1月26日（水）～27日（木）
- (31) ロボティクス・メカトロニクス講演会'2000
主 催：日本機械学会
期 日：2000年5月11日（木）～14日（日）
- (32) 第15回日本生体磁気学会大会
主 催：日本生体磁気学会
期 日：2000年5月26日（金）～27日（土）
- (33) 5th Online World Conference on Soft Computing in Industrial Applications (WSC5)
主 催：World Federation on Soft Computing
期 日：2000年9月4日（火）～18日（火）
- (34) 第18回日本ロボット学会学術講演会
主 催：日本ロボット学会
期 日：2000年9月12日（火）～14日（木）
- (35) Workshop on Multi-lingual Speech Communication (MSC)
主 催：A T R
期 日：2000年10月11日（水）～13日（金）
- (36) The Third Asia-Pacific Conference on Simulated Evolution and Learning (SEAL2000)
主 催：名古屋大学
期 日：2000年10月25日（水）～27日（金）
- (37) IAPR 国際ワークショップ MVA2000
主 催：IAPR MVA 組織委員会，東京大学
期 日：2000年11月28日（火）～30日（木）
- (38) The Fourteenth International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE-2001)
主 催：International Society of Applied Intelligence (ISAI)
期 日：June 4-7, 2001
- (39) 第27回知能システムシンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：2000年3月23日（木）～24日（金）
- (40) 複合現実感セミナー「研究開発の最前線と21世紀への展望」
主 催：日本バーチャルリアリティ学会 複合現実感研究会
期 日：2000年4月11日（火）

<会誌掲載・教官募集> 21 件

- (01) 教官募集：山口大学<計算機工学講座>

- 募集人数：助教授1名
応募締切：1999年5月31日
- (02) 教官募集：静岡大学<情報学部 情報科学科 計算機システム講座>
募集人数：助手1名
応募締切：1999年5月31日
- (03) 教官募集：福岡工業大学<システム情報工学>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年10月1日
- (04) 教官募集：富山大学<工学部 知能情報工学科>
募集人数：教授1名，助教授1名
応募締切：1999年6月30日
- (05) 教官募集：神戸大学<大学院 自然科学研究科 システム機能科学専攻>
募集人員：助教授1名
応募締切：1999年5月20日
- (06) 教官募集：奈良先端科学技術大学院大学<情報基礎，システム，知能情報>
募集人数：教授3名
応募締切：1999年6月30日
- (07) 教官募集：岐阜大学<工学部 応用情報学科>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年8月31日
- (08) 教官募集：北海道大学大型計算機センター<センター運営>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年7月31日
- (09) 教官募集：九州工業大学<情報工学部 知能情報工学科>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年7月15日
- (10) 教官募集：理化学研究所 脳科学総合研究センター
募集人数：チームリーダー3名
応募締切：1999年9月30日
- (11) 教官募集：福井大学<工学部 知能システム工学科>
募集人数：教授または助教授3名
応募締切：1999年8月31日
- (12) 教官募集：山形大学<工学部 電子情報工学科>
募集人数：教授2名
応募締切：1999年9月30日
- (13) 教官募集：近畿大学<理工学部 経営工学科>
募集人数：助教授または講師1名
応募締切：1999年9月20日
- (14) 教官募集：九州工業大学<情報工学部 知能情報工学科>
募集人数：助教授1名
応募締切：1999年10月29日
- (15) 教官募集：東京電機大学<理工学部 情報科学科>
募集人数：助手1名
応募締切：1999年11月30日
- (16) 教官募集：福岡工業大学<情報工学部 情報システム工学科>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年12月10日
- (17) 教官募集：京都大学<大学院 エネルギー科学研究科>
募集人数：教授1名
応募締切：1999年12月31日
- (18) 教官募集：龍谷大学<理工学部 数理情報学科>
募集人数：助手1名
応募締切：1999年11月10日
- (19) 教官募集：九州工業大学<情報工学部 機械システム工学科>

- 募集人数：助教授または講師 1 名
応募締切：2000 年 6 月 30 日
- (20) 教官募集：関西学院大学<情報学>
募集人数：教授，助教授，専任講師 約 10 名
応募締切：2000 年 5 月 31 日
- (21) 教官募集：山形大学<工学部 情報科学科 情報メディア科学>
募集人数：助教授 2 名
応募締切：2000 年 5 月 15 日

10 会議

① 1998 年度第 14 回通常総会

1999 年 6 月 18 日（木）に早稲田大学国際会議場で開催した。出席者は 480 名（委任状を含む）。1998 年度事業報告・決算報告・監事報告，1999 年度事業計画・予算，1999 年度役員・評議員構成などの議案審議，決裁を行った。

② 理事会

8 月，1 月を除く各月に計 10 回開催した。

③ 1999 年度評議員会

1999 年 6 月 18 日（木）早稲田大学国際会議場で開催し，担当理事から定款の改正案，会誌改革 WG 報告，全国大会の改革に関する報告が行われ，意見交換を行った。出席者は 33 名。

④ 委員会

電子化委員会は任務を完了し広報委員会に統合された。また，時限委員会である功績賞・功労賞選定委員会は，その責務を遂行し解散した。本年度は，業績賞選定委員会と活性化委員会が設立され，活動を開始した。

一方，下記委員会は，それぞれ随時開催された。

会誌編集委員会，研究会運営委員会，研究集会審議委員会，企画委員会，全国大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会

11 規程などの制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など

下記の通り規程などの制定・改訂・廃止が行われた。

- ・広報委員会規程／1999 年 5 月 28 日 改訂
- ・インターネット小委員会運営方針／1999 年 5 月 28 日 制定
- ・全国大会規程／1999 年 5 月 28 日 改訂
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記（1999/07）
- ・業績賞規程・功績賞規程／1999 年 10 月 15 日 改訂
- ・業績賞候補選定細則・功績賞候補選定細則／1999 年 10 月 15 日 改訂

*定款／1999 年 12 月 8 日 改訂（総会の定足数の変更）

個人会員の除名処分について

会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則に基づき、個人会員124名を1999年度末をもって除名いたします。

入会年度	会費未納期限切			宛先不明期限切			退会保留期限切			合 計		
	正員	学生	計	正員	学生	計	正員	学生	計	正員	学生	計
1986	13	0	13	0	0	0	0	0	0	13	0	13
1987	6	0	6	0	0	0	2	0	2	8	0	8
1988	7	0	7	0	0	0	2	0	2	9	0	9
1989	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
1990	4	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	4
1991	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3
1992	5	1	6	3	0	3	1	0	1	9	1	10
1993	7	4	11	1	0	1	1	0	1	9	4	13
1994	8	2	10	0	1	1	0	0	0	8	3	11
1995	5	3	8	0	3	3	1	0	1	6	6	12
1996	3	4	7	1	1	2	1	1	2	5	6	11
1997	4	6	10	0	7	7	1	3	4	5	16	21
1998	3	3	6	0	0	0	1	0	1	4	3	7
1999	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	70	23	93	5	12	17	10	4	14	85	39	124

(社)人工知能学会1999年度決算報告書

(1999年4月1日から2000年3月31日)

貸借対照表

(2000年3月31日現在)

(単位：円)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	73,787,906
(1)現金預金	
現金	185,713
預貯金	45,991,162
定期預金	16,252,737
(2)未収金	8,581,294
(3)担保金	777,000
(4)貸出金	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1)定期預金	35,000,000
(2)入居保証金	4,344,000
(3)電話架設料	220,584
資 産 合 計	113,352,490

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	17,949,355
(1)前受金	16,928,500
(2)未払金	768,530
(3)預り金	127,325
(4)仮受金	125,000
2. 固定負債	46,523,157
(1)国際会議積立金	14,509,980
(2)退職金引当金	1,119,020
(3)会費未納分除却引当金	2,888,067
(4)事務所整備積立金	1,405,830
(5)記念事業準備金	2,016,090
(6)名簿発行準備金	805,917
(7)活性化積立金	8,778,253
(8)国際活動積立金	10,000,000
(9)普及啓蒙活動積立金	5,000,000
負 債 合 計	64,472,512

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	35,000,000
2. 当期正味財産増減額	13,879,978
正 味 財 産 合 計	48,879,978

4) 合計

負債および正味財産合計	113,352,490
-------------	-------------

財産目録
(2000年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	73,787,906
(1) 現金預金	62,429,612
イ) 現金	
現金手持有り高	185,713
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	7,711,696
郵便貯金 (会長口座)	421,095
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,712,393
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	2,543,408
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	10,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	5,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	859,361
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,202,964
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	805,917
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,119,020
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,503,964
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	8,778,253
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,000,941
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	3,332,150
ニ) 定期預金	
東京三菱銀行神楽坂支店	1,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店	12,006,016
東京三菱銀行神楽坂支店	2,028,706
東京三菱銀行神楽坂支店	202,866
東京三菱銀行神楽坂支店	1,015,149
(2) 未収金	8,581,294
イ) '99入会金	18,000
ロ) '99会費	2,674,000
ハ) '99会誌別刷り	4,777,000
ニ) '99会誌印税	128,574
ホ) '99会誌広告料	360,250
ヘ) '99研究会登録料	320,000
ト) '99研究会別刷資料	196,000
チ) '99研究会参加費	9,000
リ) '99 J I C S T 許諾料	4,620
ス) '99 N A C S I データ料	46,850
ル) '99会誌等の頒布代	20,000
レ) セミナー参加費	27,000
(3) 担保金	777,000
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(4) 貸出金	2,000,000
イ) 全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1) 定期預金	35,000,000
(2) 入居保証金	4,344,000
(3) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	113,352,490

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	17,949,355
(1) 前受金	16,928,500
イ) 2000年度入会金	49,000
ロ) 2000年度会費	15,809,000
ハ) 研究会登録料	1,060,000
ニ) 海外航空手数料	10,500
(2) 未払金	768,530
イ) 会誌別刷り印刷費	434,070
ロ) 法定福利費	135,551
ハ) 臨時雇用費	130,371
ニ) 管理費	68,538
(3) 預り金	127,325
(4) 仮受金	125,000
2. 固定負債	46,523,157
イ) 国際会議積立金	14,509,980
ロ) 退職金引当金	1,119,020
ハ) 会費未納分除却引当金	2,888,067
ニ) 事務所整備積立金	1,405,830
ホ) 記念事業準備金	2,016,090
ヘ) 名簿発行準備金	805,917
ト) 活性化積立金	8,778,253
チ) 国際活動積立金	10,000,000
リ) 普及啓蒙活動積立金	5,000,000
負 債 合 計	64,472,512
正 味 財 産	48,879,978
合 計	113,352,490

[1] 1999年度収支決算書

(1999年4月1日から2000年3月31日まで)

1) 収入

(単位：円)

	予算額	実算額	差引額
基本財産利息収入	350,000	350,000	0
入会金収入	280,000	299,000	19,000
正会員入会金	200,000	198,000	▲ 2,000
学生会員入会金	80,000	101,000	21,000
会費収入	44,915,000	43,944,000	▲ 971,000
正会員会費	30,300,000	29,536,000	▲ 764,000
学生会員会費	1,840,000	2,028,000	188,000
賛助会員会費	11,200,000	10,880,000	▲ 320,000
特殊購読会員会費	1,575,000	1,500,000	▲ 75,000
事業収入	28,473,000	35,943,085	7,470,085
会誌別刷料	14,304,000	19,080,000	4,776,000
会誌印税	771,000	771,444	444
全国大会参加費	8,560,000	9,100,856	540,856
セミナー参加費	700,000	1,086,000	386,000
会誌など頒布代	320,000	947,190	627,190
研究会登録料、他	3,238,000	4,305,749	1,067,749
その他	580,000	651,846	71,846
補助金収入	970,000	970,000	0
文部省補助金(会誌)	970,000	970,000	0
準備金取崩し	3,591,923	2,011,923	▲ 1,580,000
国際会議積立金	0	0	0
活性化積立金	2,500,000	920,000	▲ 1,580,000
ALT積立金	1,091,923	1,091,923	0
雑収入	512,750	1,366,411	853,661
会誌広告料	330,750	874,075	543,325
会誌掲載料	0	161,000	161,000
郵送料他	10,000	18,700	8,700
受取利息	32,000	42,818	10,818
コピーライト	140,000	267,818	127,818
その他	0	2,000	2,000
当期収入合計	79,092,673	84,884,419	5,791,746
前期繰越収支差額	26,455,700	26,455,700	
収入合計	105,548,373	111,340,119	5,791,746

2) 支出

科目	予算額	実算額	差引額
事業費	40,849,492	41,712,613	863,121
会誌発行費	18,600,000	18,502,717	▲ 97,283
会誌別刷印刷費	1,716,480	2,855,948	1,139,468
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｧｲﾙ作成費	200,000	505,501	305,501
会誌執筆謝礼	258,000	196,000	▲ 62,000
会誌発行諸経費	3,536,000	4,309,850	773,850
全国大会開催費	8,560,000	8,233,878	▲ 326,122
セミナー開催費	642,442	763,167	120,725
研究会、他開催費	3,471,647	4,065,633	593,986
広報活動費	27,000	0	▲ 27,000
電子化会議費	46,000	0	▲ 46,000
表彰費	200,000	267,996	67,996
国際会議支援	1,091,923	1,091,923	0
活性化活動費	2,500,000	920,000	▲ 1,580,000
管理費	34,375,796	33,745,549	▲ 630,247
家賃	2,305,800	2,305,800	0
共益費	368,928	368,928	0
光熱費	255,000	246,470	▲ 8,530
リース料・保守・修理費	2,213,931	2,114,505	▲ 99,426
什器備品費	100,000	78,108	▲ 21,892
会議費	435,000	349,651	▲ 85,349
旅費交通費	135,000	144,450	9,450
通信費	2,748,188	2,826,910	78,722
印刷費	599,587	594,067	▲ 5,520
消耗品費	834,592	641,474	▲ 193,118
給料・手当	17,530,000	17,672,648	142,648
臨時雇用費	4,644,145	3,807,870	▲ 836,275
法定福利費	1,080,765	1,323,493	242,728
資料購入費	146,471	146,355	▲ 116
研修費	100,000	70,820	▲ 29,180
諸会費	76,500	187,100	110,600
保険料	9,750	0	▲ 9,750
OA維持費	300,000	376,377	76,377
福利厚生費	30,240	34,987	4,747
会費引落経費	145,000	135,869	▲ 9,131
外為手数料	7,900	1,000	▲ 6,900
支払い手数料	44,535	47,196	2,661
雑費	106,964	113,971	7,007
公認会計士費用	157,500	157,500	0
その他支出	2,800,000	2,223,000	▲ 577,000
会費未納分除却損	2,800,000	2,223,000	▲ 577,000
積立金繰り入れ支出	754,373	18,778,979	18,024,606
国際会議積立金	0	14,479	14,479
退職金引当金	754,373	754,550	177
会費未納除却分引当金	0	2,986	2,986
事務所整備積立金	0	888	888
記念事業準備金	0	1,757	1,757
名簿発行準備金	0	426	426
活性化積立金	0	3,003,127	3,003,127
国際活動積立金	0	10,000,000	10,000,000
普及啓蒙活動積立金	0	5,000,000	5,000,000
ALT積立金	0	766	766
過年度支出分	0	1,000,000	1,000,000
1993年度支出	0	1,000,000	1,000,000
予備費	0	0	0
当期支出合計	78,779,661	97,460,141	21,094,974
次期繰越収支差額	26,768,712	13,879,978	▲ 12,888,734
支出合計	105,548,373	111,340,119	5,791,746

注：当期収支差額は -12,575,722円である。

〔 2 〕 正味財産増減計算の部

(1999年4月1日～2000年3月31日)

1) 増加の部 (単位：円)

科 目	実算額
当期収支差額	0
当期増減差額	0
増加額合計	0

2) 減少の部

科 目	実算額
当期収支差額	12,575,722
当期増減差額	-1,000,000
減少額合計	11,575,722

3) 合計の部

科 目	実算額
当期正味財産増加額	-11,575,722
前期繰越正味財産額	60,455,700
期末正味財産合計額	48,879,978

監査報告書

2000年5月11日

(社)人工知能学会
会長 白井 克彦 殿

監事 河田 勉



監事 川田 圭



1999年度決算報告書について厳正に監査しました結果、適正に処理され、
妥当であることをご報告いたします。

以上

2000年度事業計画（案）

1 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、2000年度全国大会（第14回）、研究会、AIシンポジウム、セミナー、ワークショップなどの研究活動の推進、功績賞・功労賞・学会論文賞・研究奨励賞・全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞などの表彰、ならびに他学会および海外関連団体との協調による学会活動の活性化や多様化を推進するとともに、引き続き組織基盤の強化・拡充に努めて会員サービスの充実を図る。

会誌は、前年度のA4版化に続き、2001年1月号より論文を分離して国立情報学研究所のシステムでオンライン化する予定である。

研究会活動は、8研究会で新たにサマースクールを開校するなど一層の充実をはかるとともに、これまで年1回開催されていたAIシンポジウムを活性化させるため地方での開催も含めて年4回開催する。

人工知能セミナーは、ホットなテーマを選定し開催する。また、セミナー関連の活性化活動の一環として、本年度より若手の集いを開催する。

2 会誌の発行

① 第15巻 第3号（通巻81号）2000年5月1日発行

特集&座談会「AIの観点から見た電子商取引の将来像」の解説4編と座談会記録、一般解説2編と座談会1編、連載解説：AI技術の産業応用「災害時における意思決定支援システム」、論文6編、ショートノート1編、他。

② 第15巻 第4号（通巻82号）2000年7月1日発行

小特集「マルチリンガル情報アクセス」、一般解説1編、連載解説：AI技術の産業応用「次世代生産システムへのエージェントによるアプローチ」、論文特集&解説「発見科学」、一般論文7編、他。

③ 第15巻 第5号（通巻83号）2000年9月1日発行

特集「共通データによる知識発見手法の比較と検討」、一般解説&座談会、連載解説：AI技術の産業応用「ディスプレイモニター市場品質監視システム」、AIマップ「自然言語理解について（仮）」、論文10編を予定、他。

④ 第15巻 第6号（通巻84号）2000年11月1日発行

特集&座談会「人工市場」、'99年度博士論文特集、連載解説：AI技術の産業応用「ヘルプデスクシステム」、AIマップ「自然言語理解について（仮）」のコメントと回答、論文10編を予定、他。

⑤ 第16巻 第1号（通巻85号）2001年1月1日発行

特集「ナレッジマネジメントとその支援技術」、小特集&対談「考証：『2001年宇宙の旅』」、解説「宇宙における最近のAI技術」、ショートノート特集「近未来チャレンジ」、論文10編を予定、他。

⑥ 第16巻 第2号（通巻86号）2001年3月1日発行

特集「テキストマイニング」、解説<企画>5月に確定の予定編、論文特集&招待論文「IBIS2000:情報論的学習理論；統計的知識情報処理」：AIマップ、論文10編を予定、他。

3 全国大会（第14回）の開催

- ・日時：2000年7月4日（火）～7日（金）
- ・場所：早稲田大学・国際会議場（東京・西早稲田）
- ・構成：

① 特別講演：

- 「デジタルクリーチャーズの世界」
土井 利忠氏（ソニー・デジタルクリーチャーズラボラトリー）
- 「創ってわかる生物学」
四方 哲也氏（大阪大学）
- 「宇宙ー人工知能実用化の舞台ー」
中須賀 真一氏（東京大学先端科学技術研究センター）
- 「知識・市場と多主体複雑系ー経済学と科学哲学の接点からー」
塩沢 由典氏（大阪市立大学）

② AI レクチャー：

- 「コンピュータビジョンの過去・現在・未来」
松山 隆司氏（京都大学）
- 「インテリジェントエージェントからインテリジェントコンテンツへ：
単純系に基づくグローバルな知の創造」
長尾 確氏（日本IBM 東京基礎研究所）
- 「インタラクションの理解とデザイン」
西田 豊明氏（東京大学）

③ パネルディスカッション

- ・「認知と身体性」
- ・「21世紀のAIのための数理モデル：総括と展望」
コーディネーター/司会 藤本 和則氏（NTT）
パネリスト 山本 裕氏（京都大学）
鷲尾 隆氏（大阪大学）
繁栴 算男氏（東京大学）
松嶋 敏泰氏（早稲田大学）
- ・「シミュレーションと現実：AIの新たな課題を求めて」
コーディネーター/司会 寺野 隆雄氏（筑波大学）
パネリスト 出口 弘氏（京都大学）
井口 守氏（NEC）
竹村 真一氏（東北芸術工科大学）
亀田 達也氏（北海道大学）
木本 昌秀氏（東京大学）
- ・「近未来チャレンジから生まれる情報社会
ー情報が風になる社会を目指してー」
コーディネーター/司会 西田 豊明氏（東京大学）
パネリスト 下原 勝憲氏（NTT）
水越 伸氏（東京大学）
神田 智子氏（博報堂）
畔地 真太郎氏（北海道東海大学）

④ 特別セッション

- ・「インターネット教育環境を支えるAI技術」
- ・「音声対話研究の新展開」
- ・「情報統合における学習と検索」
- ・「KBS / FAI 合同」
- ・「ポストゲノム時代のAI技術（仮）」

⑤ 近未来チャレンジ

- ・「サバイバル・オブ・チャレンジャー POC」
- ・「サバイバル・オブ・チャレンジャー DSU」
- ・「サバイバル・オブ・チャレンジャー ICカード」
- ・「サバイバル・オブ・チャレンジャーその他」
- ・「ニューチャレンジ」

⑥ 一般口頭発表	177 件
一般デジタルポスタ発表	24 件

4 研究会の開催

第1種研究会

- ① 人工知能基礎論研究会 (略称 SIG-FAI)

第41回	7月	高知	小特集「発見科学」及び一般演題, 招待講演
第42回	9月	函館	小特集「身体性」及び一般演題, 招待講演
第43回	11月	筑波大	小特集「予測の方法と応用」及び一般演題, 招待講演
第44回	3月	北陸	小特集「エージェント」及び一般演題, 招待講演
- ② 知識ベースシステム研究会 (略称 SIG-KBS)

第48回	6月	東京	小特集「エージェント技術」及び一般演題
第49回	9月	島根	小特集「知識発見とデータマイニング」及び一般演題
第50回	11月	和歌山	小特集「オントロジー活用の実際」及び一般演題
第51回	1月	慶大	小特集「デジタルエンタープライズ」及び一般演題

 (電子情報通信学会 KBSE 研究会と共催)
- ③ 言語・音声理解と対話処理研究会 (略称 SIG-SLUD)

第29回	6月	京都	一般演題
第30回	11月	伊豆	合宿形式のワークショップ
第31回	3月	東京	コーパス利用 WG 報告会
- ④ 知的教育システム研究会 (略称 SIG-IES)

第29回	5月	東京	テーマ「教材の設計・開発・共有」
------	----	----	------------------

 (電子情報通信学会教育工学研究会と共催)

第30回	9月	徳島	テーマ「シミュレーション/マイクロワールドと CSCL」
第31回	3月	箱根	テーマ「学習支援システムと開発環境」(合宿形式)

 ・若手の会 12月 未定

第2種研究会

- ① AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

第10回	6月	函館	テーマ「RoboCup Japan Open」
第11回	秋	東京	テーマ「RoboCup-Rescue」
第12回	11月	東京	テーマ「音環境理解, 進化ハードウェアなど」
第13回	春	東京	テーマ「RoboCup Spring Camp」
- ② 情報統合研究会 (略称 SIG-CII)

第13回	7月	RWC	テーマ「マルチモーダル情報提示」
第14回	11月	電総研	テーマ「情報統合と身体性」
第15回	3月	RWC	テーマ「情報統合と確率モデル」
- ③ 分子生物情報研究会 (略称 SIG-MBI)

第11回	5月	東大	
第12回	9月	大阪	

第13回 1月 東京
第14回 3月 北陸

- ④ ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)
第05回 7月 関西 テーマ「未定」
第06回 11月 東京 テーマ「未定」

5 シンポジウム・ワークショップの開催

- ① ロボカップジャパンオープン 2000
期 日 2000年6月23日(金)～25日(日)
場 所 公立はこだて未来大学
主 催 NPO ロボカップ日本委員会, 日本経済新聞社, 日本ロボット学会,
人工知能学会
構 成 メルボルンで開催される第4回ロボカップ世界大会に向けて, 日本から
の参加チームの競技会及び関連する研究論文発表会 (SIG-Challenge)
- ② 第18回設計シンポジウム
期 日 2000年7月3日(月)～4日(火)
場 所 東京工業大学百年記念館
共 催 人工知能学会(幹事), 精密工学会, 日本設計工学会, 日本機械学会
構 成 特別講演2件, 一般講演18件
- ③ AIシンポジウム (略称 SIG-J)
第11回 10/11月 東京 テーマ「細胞シミュレーション」
第12回 12月 北陸 テーマ「ナレッジマネジメント技術」
第13回 12月 京都 テーマ「ことばとコミュニケーション」
第14回 3月 早大 テーマ「データマイニング実用に向けて」

6 セミナーなどの開催

- ① 第40回人工知能セミナー
未定
- ② 第1回若手の集い MYCOM
期 日: 2000年5月15日(月)～16日(火)
場 所: 箱根・修善寺
講 師: 松原 仁 (公立はこだて未来大) 「人工知能は成熟するほど衰退する」
- ③ サマースクール
期 日: 2000年7月17日(月)～19日(水)
場 所: トークイン琵琶湖
テーマ: サイバー社会と未来型コミュニケーション
講 師: 石田 亨 (京都大) 「デジタルシティと異文化コミュニケーション」
西田豊明 (東京大) 「インタラクションの理解とデザイン」
浅田 稔 (大阪大) 「ロボット, 身体性, そして死」
寺野隆雄 (筑波大) 「計算組織理論: エージェントで社会をみる」
國藤 進 (北陸先端大) 「気付きを支援するコミュニケーション技術」
下原勝憲 (NTT) 「コミュニケーション創発機構 (人工情動)」
対 象: 学生および企業・研究機関等に所属する若手研究者

7 2000年度の表彰

学会規程に基づき2000年度は以下の賞を贈呈する。

- ① 功績賞
- ② 功労賞
- ③ 学会論文賞
- ④ 研究奨励賞
- ⑤ 全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞

8 共催，協賛，後援など

昨年度に引き続き，他学会との協調により学会活動の活性化，多様化を推進する。

9 会議

① 2000年度第15回通常総会

5月26日（金）早稲田大学国際会議場で開催

② 理事会

6月，1月を除く各月に計10回開催

③ 委員会

会誌編集委員会，研究会運営委員会，研究集会審議委員会，企画委員会，全国大会大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会，功績賞・功労賞選定委員会をそれぞれ随時開催

10 規程など制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など

- ・会員の発議による研究集会等開催に関する細則の改正／2000年6月
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記（2000/06）

11 2000年度役員構成（案）

別紙参照

12 2000年度評議員構成（案）

別紙参照

2000年度予算書(案)

(2000年4月1日から2001年3月31日まで)

1) 収入の部

科 目		予算額	前年度予算	対前年度差異	備 考
基本財産利息収入		56,000	350,000	-294,000	
入金	正会員入会金	158,000	200,000	-42,000	79名(@2,000)
	学生会員入会金	80,000	80,000	0	80名(@1,000)
	小計	238,000	280,000	-42,000	
会費収入	正会員会費	29,400,000	30,300,000	-900,000	2,940名(@10,000)
	学生会員会費	2,200,000	1,840,000	360,000	550名(@4,000)
	賛助会員会費	10,080,000	11,200,000	-1,120,000	126口(@80,000)
	特殊購読会員会費	1,455,000	1,575,000	-120,000	97団体(@15,000)
	小計	43,135,000	44,915,000	-1,780,000	
事業収入	会誌別刷料	16,310,000	14,304,000	2,006,000	
	会誌印税	771,000	771,000	0	
	全国大会参加費	8,460,000	8,560,000	-100,000	
	セミナー参加費	1,130,000	700,000	430,000	
	会誌など頒布代	600,000	320,000	280,000	
	研究会登録料、他	4,393,000	3,238,000	1,155,000	
	その他	600,000	580,000	20,000	
	小計	32,264,000	28,473,000	3,791,000	
補助金収入	文部省補助金(会誌)	0	970,000	-970,000	
小計	0	970,000	-970,000		
準備金取崩し	国際会議積立金	0	0	0	
	活性化積立金	2,250,000	2,500,000	-250,000	
	A L T積立金	0	1,091,923	-1,091,923	
	普及啓蒙活動積立金	1,000,000	0	1,000,000	
	小計	3,250,000	3,591,923	-341,923	
雑収入	会誌広告料	1,500,000	330,750	1,169,250	
	会誌掲載料	135,000	0	135,000	
	郵送料他	15,000	10,000	5,000	
	受取利息	32,000	32,000	0	
	コピーライト	140,000	140,000	0	
	その他	0	0	0	
	小計	1,822,000	512,750	1,309,250	
当期収入合計		80,765,000	79,092,673	1,672,327	
前期繰越収支差額		13,879,978	26,455,700	-12,575,722	
収入合計		94,644,978	105,548,373	-10,903,395	

2) 支出の部

科 目		予算額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
事業費	会誌発行費	17,400,000	18,600,000	-1,200,000	
	会誌別刷印刷費	1,957,000	1,716,480	240,520	
	スタイル・ファイル作成費	300,000	200,000	100,000	
	会誌執筆謝礼	258,000	258,000	0	
	会誌発行諸経費	5,236,000	3,536,000	1,700,000	
	全国大会開催費	8,460,000	8,560,000	-100,000	
	セミナー開催費	1,094,000	642,442	451,558	
	研究会、他開催費	4,824,000	3,471,647	1,352,353	
	広報活動費	73,000	73,000	0	電子化会議費を含む
	表彰費	250,000	200,000	50,000	
	共催負担金	40,000	0	40,000	
	国際会議支援	0	1,091,923	-1,091,923	A L T 積立金
活性化活動費	2,250,000	2,500,000	-250,000		
普及啓蒙活動費	1,000,000	0	1,000,000		
小計	43,142,000	40,849,492	2,292,508		
管理費	家賃	2,352,000	2,305,800	46,200	
	共益費	369,000	368,928	72	
	光熱費	245,000	255,000	-10,000	
	リース料・保守・修理費	1,494,000	2,213,931	-719,931	
	什器備品費	100,000	100,000	0	
	会議費	400,000	435,000	-35,000	
	旅費交通費	150,000	135,000	15,000	
	通信費	2,750,000	2,748,188	1,812	
	印刷費	585,000	599,587	-14,587	
	消耗品費	833,000	834,592	-1,592	
	給料・手当	18,200,000	17,530,000	670,000	
	臨時雇用費	3,700,000	4,644,145	-944,145	
	法定福利費	1,900,000	1,080,765	819,235	
	資料購入費	150,000	146,471	3,529	
	研修費	100,000	100,000	0	
	諸会費	183,000	76,500	106,500	
	保険料	0	9,750	-9,750	
	OA維持費	300,000	300,000	0	
	福利厚生費	45,000	30,240	14,760	
	会費引落経費	140,000	145,000	-5,000	
外為手数料	5,000	7,900	-2,900		
支払い手数料	50,000	44,535	5,465		
雑費	120,000	106,964	13,036		
雑損失	0	0	0		
公認会計士費用	158,000	157,500	500		
小計	34,329,000	34,375,796	-46,796		
会費未納分除却損	2,700,000	2,800,000	-100,000		
小計	2,700,000	2,800,000	-100,000		
積立金繰入	国際会議積立金	0	0	0	
	退職金引当金	1,175,000	754,373	420,627	
	会費未納分除却引当金	0	0	0	
	事務所整備積立金	0	0	0	
	記念事業準備金	0	0	0	
	名簿発行準備金	0	0	0	
	活性化積立金	0	0	0	
	国際活動積立金	0	0	0	
	普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
小計	1,175,000	754,373	420,627		
予備費	0	0	0		
当期支出合計	81,346,000	78,779,661	2,566,339		
次期繰越収支差額	13,298,978	26,768,712	-13,469,734		
支出合計	94,644,978	105,548,373	-10,903,395		

2000年度役員構成（案）

役職名	種別	氏名	所属
会長	新任	白井 良明	大阪大学大学院 工学研究科
副会長	留任	石黒 辰雄	日本電気（株）
副会長	新任	田中 穂積	東京工業大学大学院 情報理工学研究科
理事	新任	麻生 英樹	電子技術総合研究所 情報科学部
理事	留任	石田 亨	京都大学大学院 情報学研究科
理事	新任	石塚 満	東京大学 工学部 電子情報工学科
理事	新任	上田 和紀	早稲田大学 理工学部 情報学科
理事	新任	大河内 正明	日本アイ・ビー・エム（株） 東京基礎研究所
理事	新任	岡田 直之	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
理事	留任	梶 博行	（株）日立製作所 中央研究所
理事	留任	下原 勝憲	NTT（株） コミュニケーション科学基礎研究所
理事	新任	末田 直道	（株）東芝研究開発センター
理事	新任	長坂 篤	沖電気工業（株） 研究開発本部
理事	新任	萩田 紀博	NTT（株） コミュニケーション科学基礎研究所
理事	留任	寺野 隆雄	筑波大学大学院 経営システム科学専攻
理事	留任	富田 勝	慶應義塾大学 環境情報学部
理事	留任	坂内 広蔵	（財）電力中央研究所 情報研究所
理事	留任	平井 和雄	（株）本田技術研究所 役員室
理事	留任	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻
理事	留任	毛利 友治	（株）富士通研究所 知能システム研究部
監事	留任	川田 圭一	NTT-AT（株） 経営企画本部
監事	新任	山本 昌弘	法政大学 国際文化学部

（理事は五十音順，敬称略）

1999年度末退任役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	白井 克彦	早稲田大学 理工学部 情報学科
副会長	白井 良明	大阪大学大学院 工学研究科
理事	浅田 稔	大阪大学大学院 工学研究科
理事	岩野 和生	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所
理事	國藤 進	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
理事	小林 重信	東京工業大学大学院 総合理工学研究科
理事	白鳥 則郎	東北大学 電気通信研究所
理事	管村 昇	(株)NTTデータ 人材開発部
理事	中島 秀之	電子技術総合研究所 情報科学部
理事	林 英也	沖電気工業(株) 研究開発本部
監事	河田 勉	(株)東芝 iバリュー クリエーション社

(理事は五十音順, 敬称略)

2000年度評議員構成（案）

秋藤 俊介	留任	(株) 日立製作所 システム開発研究所 第二部
秋吉 政徳	新任	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 システム基礎研究所
阿曾 弘具	再任	東北大学大学院 工学研究科電気・通信工学専攻
阿部 圭一	再任	静岡大学 情報学部 情報科学科
雨宮 真人	留任	九州大学大学院 システム情報科学研究科
池田 克夫	留任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
石崎 俊	新任	慶應義塾大学 環境情報学部
石原 孝一郎	再任	拓殖大学 工学部情報工学科
磯崎 秀樹	再任	NTT(株) コミュニケーション科学基礎研究所
市川 薫	新任	千葉大学大学院 自然科学研究科
伊藤 秀昭	再任	中京大学 情報科学部情報科学科
今井 幸雄	再任	(株) 野村総合研究所 ナレッジソリューション部門
植村 昌俊	留任	沖電気工業(株) システムソリューションカンパニー
宇佐見 仁英	留任	富士通(株) パッケージ事業本部
大貝 晴俊	再任	科学技術振興事業団 科学技術情報事業本部 情報システム開発部
大田 友一	新任	筑波大学 電子情報工学系
大槻 説乎	留任	広島市立大学 情報科学部
大宅 伊久雄	再任	沖電気工業(株) ネットワークシステムカンパニー
岡 夏樹	再任	松下技研(株) 岡研究室
岡田 幹夫	留任	東京電力(株) システム研究所 インターフェースグループ
岡本 明	再任	(株) リコー 研究開発本部
小川 均	新任	立命館大学 理工学部情報学科
嘉数 侑昇	新任	北海道大学大学院 工学研究科
片井 修	留任	京都大学大学院 情報学研究科 システム科学専攻
加藤 恒昭	新任	NTT(株) コミュニケーション科学基礎研究所
菊田 泰代	留任	富士通(株) アウトソーシング事業本部
木下 哲男	再任	東北大学 電気通信研究所
久野 義徳	留任	大阪大学 工学部 電子制御機械工学科
樽松 明	再任	電気通信大学 電気通信学部 電子工学科
小島 昌一	新任	(株) 東芝 研究開発センター システム技術ラボラトリー
小長谷 明彦	留任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
小林 哲則	再任	早稲田大学 理工学部 電気電子情報工学科
斎藤 康己	留任	NTT(株) NTT長距離国際会社移行本部
坂部 俊樹	留任	名古屋大学大学院 工学研究科 情報工学専攻
櫻井 彰人	留任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
島津 明	再任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
島津 秀雄	留任	日本電気(株) C&C情報研究所 情報応用研究部
新谷 虎松	再任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
杉村 領一	留任	松下電器産業(株) マルチメディア開発センター
諏訪 基	再任	通商産業省 工業技術院 大阪工業技術研究所
高橋 理一	再任	(株) 豊田中央研究所
瀧 寛和	留任	和歌山大学 システム工学部 情報通信システム学科
竹内 章	再任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
武田 英明	新任	国立情報学研究所
竹林 洋一	留任	(株) 東芝 研究開発センター
田中 讓	留任	北海道大学大学院 工学研究科 電子情報工学専攻

田村 浩一郎	再任	中京大学 情報科学部
塚本 昌彦	新任	大阪大学大学院 工学研究科 情報システム工学専攻
辻 洋	新任	(株)日立製作所 コンシューマネットビジネス推進本部
徳田 恵一	再任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
富井 規雄	新任	(財)鉄道総合技術研究所 池田(宏)研究室
富山 哲男	新任	東京大学大学院 人工物工学研究センター 知能科学研究部門
豊田 順一	留任	大阪大学 産業科学研究所
中川 裕志	新任	東京大学 情報基盤センター・図書館電子化研究部門
中小路 久美代	新任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 認知科学講座
中田 純一	再任	日本ユニシス(株) ソリューションシステム部
中村 孝太郎	留任	(株)東京自働機械製作所 研究所
錦見 美貴子	新任	電子技術総合研究所 情報科学部
西田 正吾	留任	大阪大学 基礎工学部 システム工学科
新田 克己	新任	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学専攻
橋本 和夫	再任	(株)KDD研究所 知識情報処理グループ
馬場口 登	再任	大阪大学 産業科学研究所 知能システム科学研究部門
林 朗	新任	広島市立大学 情報科学部 情報機械システム工学科
早馬 修	留任	東亜大学大学院
原 潔	留任	日本ユニシス(株) 情報技術部 技術研究開発室
廣瀬 正	留任	(株)日立製作所 情報事業本部
古川 康一	留任	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
堀 聡	再任	三菱電機(株) 生産技術センター
堀 雅洋	新任	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所
松嶋 敏泰	新任	早稲田大学 理工学部 工業経営学科
松原 仁	留任	公立ほこだて未来大学 システム情報科学部
松山 隆司	再任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
丸山 文宏	留任	(株)富士通研究所 ネットメディア研究センター
溝口 文雄	再任	東京理科大学 理工学部 経営工学科
宮原 是中	留任	千葉工業大学 工業経営学科
山口 高平	留任	静岡大学 情報学部 情報科学科
山崎 英蔵	留任	(株)三菱総合研究所 情報技術研究センター
山之内 徹	新任	日本電気(株) C&Cメディア研究所
山村 雅幸	再任	東京工業大学 総合理工学研究科
山本 誠一	再任	(株)エイ・テイ・アール 音声言語通信研究所
横田 将生	留任	福岡工業大学 情報工学部 言語情報工学研究所
米山 正秀	留任	東洋大学 工学部 情報工学科
和佐野 哲男	留任	NTT-ME 第5マーケティング本部
渡辺 豊英	留任	名古屋大学大学院 工学研究科 情報工学専攻

(五十音順, 敬称略)

内 訳 (括弧内は昨年度)

留任	34名	大学関係 :	48名 (41名)
新任	21名	国立機関 :	3名 (3名)
再任	28名	企業関係 :	32名 (34名)
		合計 :	83名 (78名)

1999年度末退任評議員

氏名	所属
飯田 敏幸	日本電信電話（株） 第一法人営業本部
石井 義則	ソニーコンピュータ（株） システム統括本部
石川 勉	拓殖大学 工学部 情報工学科
石塚 満	東京大学 工学部 電子工学科
稲垣 康善	名古屋大学大学院 工学研究科 計算理工学専攻
岡田 直之	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
斉藤 宗昭	
末田 直道	（株）東芝 研究開発センター
辻 秀一	三菱電機（株） 情報技術総合研究所
戸沢 義夫	日本IBM（株） コンサルティング事業部
西尾 章治郎	大阪大学大学院 工学研究科
野々垣 旦	富士通アプリコ（株） マルチメディア事業部
八賀 明	汎用電子乗車券技術研究組合
原口 誠	北海道大学大学院 工学研究科 電子情報工学専攻
淵 一博	慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
淀川 英司	工学院大学 電子工学科
渡辺 正信	日本電気（株） 共通技術システム本部

（五十音順，敬称略）

© 2000

社団法人 人工知能学会

JSAI (Japanese Society for Artificial Intelligence)
OS Bldg. 402, 4-7 Tsukudomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162-0821, Japan
TEL: 03-5261-3401 FAX: 03-5261-3402

2000年度第15回通常総会資料

発行日：2000年5月26日

発行所：社団法人 人工知能学会

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402

TEL: 03-5261-3401 FAX: 03-5261-3402

印刷所：(株) 早稲田大学事業部

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-1-7

TEL: 03-3203-3308 FAX: 03-3202-5935